

令和4年度事業報告

1. 講習会事業（定款第4条一1）

(1) プール衛生管理者講習会

開催回	開催地	日程	資格取得者数	3年度実績	2年度実績	元年度実績
第193回	東京	5月12・13日	76	37	—	
第194回	大阪	5月18・19日	68	43	—	98
第195回	東京	10月13・14日	69	47	49	87
第196回	大阪	10月27・28日	53	45	40	56
第197回	東京	1月19・20日	62	43	42	51
第198回	沖縄	2月9・10日	52	—	—	—
	地方		—	23(福岡)	15(仙台)	31(福岡)
	合計	6回開催	380 (330)	238	146	356

() は募集人数

1. パンデミックの影響は減少したが会場での混雑を避けるために募集人数を制限した。
次年度は混雑を理由の人数制限を廃止したい。
2. 第198回は沖縄県と一般社団法人沖縄観光コンベンションビューロー殿からの後援を受けたこともあり30名の募集に対して52名の受講があった。
3. プール衛生管理者資格取得者が在籍し、安全・安心なプール環境を提供している施設であることを証明する「衛生管理者在籍施設認定証」を作成したが、今年度からその運用に入った。
今年度は5社9施設から申請がありそれぞれ認定証を発行した。
4. 衛生管理者講習会で認定証の内容を説明し、今後も認定施設を増加させたい。

(2) プール施設管理士講習会

＜後援＞ 公益社団法人 日本薬剤師会 学校薬剤師部会

＜後援＞ 公益財団法人 日本学校保健会

開催回	開催地	日程	資格取得者数	3年度実績	2年度実績	元年度実績
第74回	東京	6月10日	43	34	中止	53
第75回	大阪	6月24日	34	中止	中止	31
第76回	東京	11月11日	29	38	28	37
第77回	大阪	11月25日	中止	23	15	21
	合計	3回開催	106(210)	95	43	142
特別	沖縄	6月16日	15	22	16	17

() は募集人数

1. パンデミックの影響も残っているかもしれないが全体的に施設管理士の意識が薄れている

傾向にある。令和 2、3 年度とは状況が大きく異なるために比較すべきではないが減少傾向は否めない。

2. 第 77 回講習会(大阪会場)は応募人数が一桁にとどまり開催を中止とした。

(3) プール衛生管理者更新講習会

<自宅学習型>

締切月		資格取得者数	3 年度実績	2 年度実績	元年度実績
4 月		80	118	41	63
6 月		111	115	33	32
8 月		54	53	26	26
10 月		110	63	42	71
12 月		130	106	65	149
	合計	485 (500)	455	212	337

() は計画人数

1. 集合学習型講習は今年度もパンデミックの影響下で感染防止対応として中止にした。
2. 更新制度採用を知らない 5 年以上前の資格取得者や更新忘れの取得者からの問い合わせも多くあるが、更新講習の説明をし、受講・試験合格を条件に継続して資格を発行する旨伝えて受講を勧めている。前年度からその成果も出ているものとする。

2. 調査事業 (定款第4条-2)

最近の調査事業は「水質の浄化」分野での調査が続いていたので、今年度は施設・運営の分野で調査を展開した。

直近の 3 年間はプール施設も感染防止対策として施設の休館や限定的は施設運用がなされてきたこともあり、パンデミックが施設の運営にどのような影響を及ぼしたかを調査検討した。

およそ 400 施設に調査資料を送りその回答から考察しまとめを行った。

「公共プール施設における新型コロナウイルス感染症対策」報告書。

3. 認定事業 (定款第4条-3)

機器認定と運営団体認定の 2 種類を認定事業としているが、今年度は新たに認定を受けた会員はなく、依頼のあった会員 3 社に認定証のラベル(シール)を提供した。現在機器認定機種は 19 社 141 機種。運営団体認定は 5 社。

4. 情報提供・相談事業 (定款第4条-4)

- (1) 「水泳プール総合ハンドブック」「水泳プール総合ハンドブックの解説版冊子」「プール施設管理士マニュアル」「学校における水泳プールの保健衛生管理」などを通じて、知識・技術なども含めた情報提供を行った。

- (2) メール・電話による問い合わせ、技術的相談、施設運営上の相談など 70 件寄せられ、メールによる返信、電話での説明、ホームページ上での掲載、書類送付などの方法で対応した。
- (3) プール衛生管理者更新制度を協会ホームページなどから確認した未更新者からの問い合わせや相談も引き続き多くあり、今年度中の更新講習受講により資格継続する旨説明して受講を促した。
- (4) 横浜市薬剤師会、東京都多摩小平保健所、協会正会員ウォーターワイズ、品川保健所、埼玉県保健医療部、港区みなと保健所より講習会講師派遣要請がありそれぞれ 4/10, 4/26・5/6, 6/16,6/28, 7/8, 3/2・3/3 に講師を派遣した。

5. 助成事業（定款第4条- 5）

本年度も休止の状況を継続。

6. 委員会活動

- (1) 企画・コンプライアンス委員会を 4 回(7/22, 10/7, 12/9, 2/17)開催し、当年度の各事業計画の進捗状況を確認しながら計画達成への調整を行い、その結果を理事会へ報告した。また、令和 5 年度の年間行事予定、事業計画を策定し理事会に提出した。

7. 広報活動

- (1) 協会「ご案内」パンフレットの最新版を発行するにあたり変更箇所など検討し株式会社リ・ポート社に発注した。
- (2) 「プール衛生管理者講習会」「プール衛生管理者更新講習会」「プール施設管理士講習会」の案内を更新し、DMにて約 6,200通発送した。
今回は、学校関係者・学校薬剤師の受講を促すため全国の薬剤師会にも発送した。
- (3) 協会ホームページの内容をチェックし修正を実施した。また、令和 5 年度の講習会開催案内を掲載した。
- (4) 令和 5 年度が期限となる「衛生管理者証」取得者に更新講習案内ハガキ(約 760 枚)を発送した。
- (5) 沖縄での第 198 回衛生管理者講習会開催に向け沖縄県庁を訪問し保健医療部衛生薬事課に後援依頼を行った。後日承認された。併せて一般社団法人沖縄観光コンベンションビューローからも後援の承認を受けた。

8. 管理業務

- (1) 通常社員総会を 6/17 に開催。令和 3 年度の業務報告を行い各議案が承認された。
役員改選の年であり、高橋理事・中津理事・小峰監事が退任し、立川理事・小田川理事・鈴

木理事・吉田監事がそれぞれ就任した。その他の役員は重任した。また、役員変更に伴う法務局、内閣府への届け出も行った。

(2) 理事会を3回(5/27, 6/17, 3/10)開催し業務執行状況の監督をした。

6/17の第35回理事会にて長島弘典会長、中村克彦理事長、白木俊郎専務理事が就任した。令和5年度の年間事業計画、予算計画を策定した。

また、理事長・専務理事・理事の職務執行の監督を行った。

(3) 内閣府公益認定等委員会に令和3年度事業報告書及び令和5年度事業計画書をそれぞれ令和4年6月と令和5年3月提出。

(4) 令和5年3月17日に内閣府公益認定等委員会の立入検査を受けた。コロナパンデミックの影響で過去2回立入が延期となっていた。いくつかの指摘を受け、対応すべきものは対応した。